

第12回 松本市長と車座集会「みんなの尼活皆議」

＜ フリートーク型 武庫地区にお住まいのみなさまと ＞

対話録概要

と き	令和6年11月8日（金） 午前9時30分から午前11時30分まで
と ころ	武庫西生涯学習プラザ 1階 ホール
出席者	参加者 15人、市長ほか関係者 7人 計22人

【市長のあいさつ】

市長になってこの12月で2年を迎える。自分自身が市長になって12回目の車座集会である。参加者やテーマを特定し開催するものや、公募により可能な限り自由なテーマで開催するものがある。昨年度は前者の手法により4回開催したが、今年度は後者の手法により各地域でも開催していくこととしており、武庫地区はその5回目である。本日は皆さんから多様な意見をもらい、市政運営の改善へとつなげていければと思う。

【意見交換】

＜参加者＞福祉施設に対する行政監査に関して、尼崎市の視点はお金の面ばかりで、サービス面は見えていない。サービスの質を上げるためにも介護・障害福祉サービスに関する知識を深め、サービス面の改善を促すような監査をお願いしたい。

＜市長＞正規職員は約3千人、会計年度任用職員なども含めると約5千人の職員がいる。昔は正規職員がもっといたが、行財政改革を進める中で職員定数も減らしてきた。こうした過程の中で各分野の専門性の高い業務をどんどん民間委託をしながら行政サービスを維持しているが、問題となっているのは行政職員の専門性が低くなっていることである。人材育成の話なので一朝一夕とはいかないが、今後職員の専門性を高めていきたい。

＜参加者＞避難所に関して、障害者の避難をより具体的に想定した避難計画を立てておくべきであると思う。一例で、ある避難所ではエレベーターがあることから障害者は4階に避難する想定をしているとの話を聞いたが、電気設備が使えないときの想定まではしていなかった。身体障害、発達障害、知的障害など様々な特性があり、必要な配慮も異なる中で当事者の意見を聞いたりしながら、避難訓練・シミュレーションをしてもらいたいと思っている。また防災訓練の実施回数も増やしてもらいたい。

＜参加者＞尼崎市はペットの防災に関しては遅れている認識である。約80か所ある市内の避難所の内、約半数は屋外の雨ざらしとなるところがペットの避難所での居場所である。避難者がペットを連れてきたときにどう対応するのかについてもしっかりとシミュレーションしておいて欲しい。また武庫西生涯学習プラザはペットの避難所開設のために必要となるお世話するためのグッズが入ったスターターキットというボックスを設置してくれている。人とペットが同じ場所・空間で過ごすとなるとアレルギーなどの問題も生じてくるが、キットの配置などペットに配慮した避難所の取組を全市的に展開してもらいたい。

＜市長＞避難所については運営側もいろんなシミュレーションや配慮をしている。例えば、プライバシ

ーを守るための仕切りやトイレの在り方、非常用電源の確保や介護が必要な方への対応など、様々な配慮をするために機能面やレイアウトなど細部まで工夫が必要となる。皆さんの今のような指摘は新たな気付きにもつながり、いただいた意見は防災担当部署とも共有させていただく。市民が45万人いる中、避難所における食料の備蓄は約12万食しかない。45万人全員が避難することも考えにくく、また避難所開設期間も災害状況によって異なり、保管場所のことも考慮し、現在こうした備蓄の状況にある。冒頭、自助、共助、公助の話をしたが、災害時のときこそ各個人で備えもしておいてもらいたい。ペット防災についても特段の配慮が必要であれば飼い主に備えておいてもらいたい、行政としてはスターターキットを全避難所に設置することはできるかもしれない、前向きに考えていきたい。

〈参加者〉自分は学校現場の事務などを行うスクールサポートスタッフをしているが、先生たちの疲弊が目立つ。それにより影響があるのは子どもたちであるし、資格等がなくても学校の先生たちをサポートできる取組があればいいと思うし、子どもたちの話相手になる大人がいるだけでも現場は助かると思う。

〈参加者〉自分は学校と地域をつなぐコーディネーターをしており、学校行事のまち探検や家庭科の調理実習などにもボランティアとして参加してみたが、相当大変であった。こうした学校行事の手伝いをする際にも対価を払ってもらいたい。

〈市長〉先生の配置基準は学校の生徒数などに応じて国が決めており、先生の給料は国費と県費で賄われているが、それでは回らないのが実態。そのため、市費を投入して、学校現場を支えるスクールサポートスタッフや教育支援員、スクールロイヤーを配置する取組を進めてきているが、十分とも思っておらず、子どもたちのためにも先生の負担軽減には引き続き取り組んでいきたい。

〈参加者〉対価を求めることは大事であるが、無償のボランティア活動に意義があると自分は思っている。ボランティア活動は心を豊かにするし、まちの活力にもつながっていくと思うので、取組を広げていきたい。

〈市長〉行政主導でもグッドマナー&クリーンキャンペーンということで駅前のごみ拾いなどもしているが、地域発意のボランティア活動も広がっていけば、必ずより住みやすいまちになっていくと思っている。

〈参加者〉子育てをしている保護者との話の中で、子どもが遊べる場所が少ないという話題がよく出る。特にボール遊びができない。公園によっては、ボール遊び禁止の看板などがあり、自由度が低い。公園を新たに作る際には近隣住民などの意見を事前に聞き、可能な限り自由度が高い公園にしてもらいたい。

〈市長〉公園の活用について細かいルールは元々ない。ただし、バスケットボールやスケートボードの騒音や野球ボールが民家まで飛ぶことによる被害など、近隣住民からの苦情も実際ある中で徐々に活動が制限されてきた。こうしたこともあり、大庄地区での新たな公園施設の整備に向けては、まさに地域住民と話し合いの機会を何回も設け、みんなが楽しく利用できる公園を目指しているところである。

〈参加者〉武庫小学校と武庫中学校の間に通学路を示すため路肩にグリーンの線を約17年前に引いていただいた。そのときは非常に嬉しかったが、長い歳月が経過し、かなり剥げてきているため、もう一度、引き直すなど手入れしてもらいたい。また、武庫東小や武庫の里小の周りは綺麗に舗装され

ているが、武庫小周りは舗装ができていないため、こちらも手入れをお願いしたい。

〈市長〉道路や公共施設には耐用年数がある。市域内のそれぞれの箇所の劣化の状況などから、限られた予算の中で優先順位をつけながら更新などに取り組んでいるが、ご意見は道路部局にも伝え、やれることはしっかりとやっていきたい。

〈参加者〉ごみ置き場を設置している公園があるが、そのごみ置き場に家庭ごみが捨てられていることがある。こうした状況を市に訴えるも改善されない。しっかりと巡回するなど適切な対応をしてもらいたい。また、歩道の安全確保のために倒木の危険性がある樹木を撤去するといった近隣住民宛の当時の通知も見せて欲しい旨、道路部局にお願いしたが、対象のデータがないとの回答であった。

〈市長〉市職員と市民の皆さんとのやり取りも人間同士のコミュニケーションであり、こうした話はよくある。市職員全員が市民に満足してもらえる対応ができるかということそうではないが、接遇をはじめ、資質の向上には引き続き取り組んでいく。

〈参加者〉凶悪犯罪が全国的に起こる中、尼崎市も対策はしないといけない。市内に防犯カメラは何台あるのか。人が多く行き来したり、集まるところには防犯カメラを設置しておくべきと考える。

〈市長〉民間が設置しているものの数は把握していないが、行政としては防犯カメラの新規設置及び更新に係る補助事業を実施しており、累計 256 台の防犯カメラに補助している。

〈参加者〉安心して市民が暮らせるよう引き続き該当犯罪の防止と体感治安の向上に取り組んで欲しい。また、西武庫公園は歴史のある公園であるが、公園内の植栽が枯れており、水をやった形跡もない。植栽を埋める以上は丁寧に手入れしてもらいたい。

〈市長〉西武庫公園の自然に対するご意見は度々いただく。自然を大事にしたいのは行政も同じである。枯れている状態が続いている理由は確認しないといけないが、管理はしっかりやっていきたい。

〈参加者〉人気アニメ忍たま乱太郎は登場人物が尼崎の地名になっているため、尼崎を PR するにはとても良いツールであるのになぜ活用しないのか。

〈市長〉忍たま乱太郎の活用には著作権などの問題があり市の都合で自由に活用することは出来ないといった事情がある。ただし、ファンも多いため権利者と調整がつく場合には活用を検討していきたい。

【おわりに】

〈市長〉いただいた意見については、今後の市政運営の参考にさせていただく。市の組織は大きいと言えど、庁内職員とコミュニケーションを図りながら、意見の市政への反映を検討していく。

以 上